



岩波書店

日本の歴史研究の名著がついに電子化!

岩波講座

全22巻

日本歴史

【著編者】

大津 透/桜井 英治/藤井 譲治
/吉田 裕/李 成市



前回の『岩波講座 日本通史』刊行から約20年が過ぎ、この間の歴史研究の進歩をふまえる形で、2013年11月に刊行が始まり、2015年2月に完結した。執筆者は、第一線の研究者209人に及んだ。

原始・古代から近現代までを時代ごとに論じた19巻に加え、時代を超えた論点を「地域論」「史料論」など独立したテーマ巻とした。「歴史学の現在」には、文明史や社会史、女性史など、近年盛んになってきた分野の論考が並ぶ。

アジアの中での日本という視点から日本の歴史を考え、その大きな流れを描き出す。日本史研究の成果・到達点を提示。

◆ 2018年1月配信予定

全22巻セット価格	同時1アクセス(本体)	同時3アクセス(本体)
	¥242,000	¥726,000

※各巻の詳細は裏面をご参照ください。

2017年8月



巻次	タイトル	発行年	内容紹介	冊子版ISBN	商品コード
1	第1巻 原始・古代 1	2013	古くは、大陸につながる古北海道半島、本州から九州までが連なる古本州島と島嶼部琉球によって構成された日本列島、気候や自然環境の大きな変動を経て人びとが暮らしはじめた旧石器時代から5—6世紀倭国まで、朝鮮半島・中国大陸とのかかわりのなかで形づくられていった列島の古代を、最新の研究成果をふまえて描く。	9784000113212	1025355495
2	第2巻 古代 2	2014	隋・唐と交渉をもち、百済・新羅、高句麗など朝鮮諸国の動乱にも深くかわるなかで、中国大陸・朝鮮半島からさまざまな技術や文化が移入された6—8世紀、権力が集中し、「京(みやこ)」が建造されるとともに、社会機構や制度がととのえられ、国家的支配をささえる仕組みが形成されていく過程を多角的に論じる。	9784000113229	1025355496
3	第3巻 古代 3	2014	遣使や留学生、僧によって伝えられた制度に倣いながら、律・令が編纂され、法にもとづいた支配体制をもつ中央主権国家が成立した7—8世紀、平城京が築かれ、大仏が造立された奈良時代、大陸・半島の影響を多く残しながら、やがて日本独自の国家、文化が生まれ、形づくられていく過程をたどる。	9784000113236	1025355497
4	第4巻 古代 4	2015	藤原氏が政権に入りこみ、力をふるった平安前期、数々の政争や政治改革から、律令政治が変貌した時代を、さまざまな角度から描く。	9784000113243	1025355498
5	第5巻 古代 5	2015	九世紀末以降、摂関政治がはじまり律令国家から王朝国家へと転換して、日本が大きな変化を遂げていく時代の様相を描く。	9784000113250	1025355499
6	第6巻 中世 1	2013	武士の台頭、荘園制の進展にともなう土地と人との関係の変化、貨幣経済の進展、そしてそれにもなう人々の心性の変容——古代から中世にかけて日本はダイナミックな変化をとげる。11世紀後半の院政期から16世紀後半の戦国時代まで500年続く日本の中世の姿を、社会史研究、権門体制論などの到達点をふまえて描き出す。	9784000113267	1025355500
7	第7巻 中世 2	2014	承久の乱で朝廷を制圧し、支配体制を確立した鎌倉幕府。しかし、その後、皇位継承問題への介入、得宗支配をめぐる内訌、モンゴル襲来などの契機を経て徐々に衰退し、滅亡する。室町時代を準備した建武政権までの歴史を辿るとともに、交通・法・身分・家・都市・民衆思想など様々な切り口から中世社会の特質を探る。	9784000113274	1025355501
8	第8巻 中世 3	2014	建武政権打倒から南北朝動乱を経て、武家政権として確立し、やがて衰退してゆく室町幕府の歴史を軸に、東アジアの変動や、所有・貨幣・流通などの経済的側面、一揆に象徴される社会編成の変容、宗教・文化など様々な切り口から室町時代を描き出す。	9784000113281	1025355502
9	第9巻 中世 4	2015	明応の政変(1493年)によって室町幕府の権威は完全に失墜し、日本は戦国時代へと突入する。戦国大名による地域的統一権力の確立と幕府滅亡にいたる歴史を辿るとともに、宗教や法、環境など様々な観点から中世の特質を描き出す。	9784000113298	1025355503
10	第10巻 近世 1	2014	室町幕府の倒壊から、秀吉による全国統一、朝鮮出兵、関ヶ原の戦いを経て江戸幕府が成立するまで、政権の変遷と併行して、キリスト教勢力の進出や朝鮮出兵により緊迫を強めた日・朝・明三国関係への対応を迫られた激動の近世前期、天下人たちが作りあげた強力な支配体制と、社会の特質について、さまざまな角度から論じる。	9784000113304	1025355504
11	第11巻 近世 2	2014	戦国の緊張が解消し、泰平の世へと移行した江戸時代前期、政権の機構が秩序化され、安定した関係が築かれてゆく時期の社会の様相を描く。	9784000113311	1025355505
12	第12巻 近世 3	2014	吉宗政権の行った政治改革と、交通体系の確立、法体系の特質、学問の様相など、近世社会のさまざまな位相を論じる。	9784000113328	1025355506
13	第13巻 近世 4	2015	田沼政治から寛政の改革の時代、生産・技術の発展、教育や芸能文化の充実をみながらも、変動し転換してゆく社会の諸相を描く。	9784000113335	1025355507
14	第14巻 近世 5	2015	アジアの中での日本という視点から日本の歴史を考え、その大きな流れを描き出す。日本史研究の成果・到達点を提示。第14巻は、支配体制・社会構造に矛盾が広がり外圧が強まりはじめた開国前後の様相を描く。	9784000113342	1025355508
15	第15巻 近現代 1	2014	大政奉還と新政府の成立から、戊辰戦争を経て廃藩置県にいたる明治維新の激動を通して、日本は近世から近代へと移行してゆく。地租改正や殖産興業などの経済的諸政策、地方自治制、官僚制、軍隊、教育制などの創出、自由民権運動や文明開化……国民国家として成立した近代日本の姿を様々な角度から描き出す。	9784000113359	1025355509
16	第16巻 近現代 2	2014	明治憲法制定や帝国議会開設などを経て、明治国家が立憲君主制国家としての体裁を整えていく過程は、日清・日露戦争を通じてアジアにおける唯一の帝国としての地歩を固めていく過程でもあった。近代国民国家・日本の姿を、産業革命の達成、教育制度の確立、多発する社会問題など様々な側面をふまえて描き出す。	9784000113366	1025355510
17	第17巻 近現代 3	2014	内に立憲主義、外に帝国主義——大正デモクラシー期の日本では、社会運動の展開や政党政治の実現と韓国併合や大陸・南洋への帝国主義的膨張とが共存していた。満州事変・日中戦争の勃発によって終焉を迎えるまでの時代の特質を、政治・経済・国際関係・近代家族・大衆文化などさまざまな側面から描き出す。	9784000113373	1025355511
18	第18巻 近現代 4	2015	盧溝橋事件から始まった日中戦争は泥沼化し、日本は勝算のない対英米戦争へと突き進んでゆく。戦局の進展に伴い深化・膨張していった総力戦体制と「大東亜共栄圏」が敗戦によって崩壊し、連合国の占領下、戦後日本の枠組みがつけられるまでの1940年代の歴史を、政治・外交・経済・文化など様々な側面から描き出す。	9784000113380	1025355512
19	第19巻 近現代 5	2015	1952年のサンフランシスコ講和条約による「独立」の回復から、五五年体制の確立、高度経済成長による社会構造の大きな変容を経て、新自由主義・新保守主義の台頭する現在まで——沖縄や奄美などを残したままの「独立」、冷戦激化に伴う戦争責任や補償問題の棚上げ、公害や貧富の格差の拡大など様々な矛盾を抱えてきた歴史を辿る。	9784000113397	1025355513
20	第20巻 地域論	2014	日本列島の内外には、互いに異なる社会組織体系が出会い、葛藤し、入り交じる地点(接触領域)が存在してきた。それらの多種・多様な接触領域をとらえなおし、そこから立ち現れる新しい日本の歴史像を描き出す。	9784000113403	1025355514
21	第21巻 史料論	2015	各時代で議論が深められた史料学研究成果をまとめ、今後の展望を示すとともに、史料のおかれている状況と課題について論じる。	9784000113410	1025355515
22	第22巻 歴史学の現在	2016	いま、歴史学の現場で、何が起き、何が問われているのか、文明史、社会史、ジェンダー史、東アジア世界論、国民国家論、グローバル・ヒストリー、植民地問題、歴史認識問題、歴史教科書問題、「戦後歴史学」の問い直し……日本史研究がこれまで共有してきた問題、あるいは現在直面している問題を、具体的な論点に即して提示する。	9784000113427	1025355516

各巻価格	同時1アクセス(本体)	同時3アクセス(本体)
	¥11,000	¥33,000

※ 表示価格は税抜きです。

2017年8月